

長泉町・さわやかハイキング報告書

通算山行NO	NO. 90 (B隊)	報告者	河野 光江
年月日	2010年09月19日(日)晴	2万5千	大月
山名	小金沢連峰・滝子山(1590m)～大谷ヶ丸(1644m)		
体力度=3・普通      技術度=3・普通      藪漕度=無し      道標=ある 展望度=良い      三角点=滝子山東峰に二等三角点あり      点名=滝子山      等級=二等			
<b>剣岳よりすごい？上部の岩場</b>			
コース とタイム	下土狩5:00発—御殿場—大月—桜公園6:30着・6:40発— 寂梢尾根登山口6:50—寂梢尾根(南稜)—滝子山9:30着・9:45 発—大谷ヶ丸11:00着・12:10発(昼食)—コンドウ丸12:35 着・12:40発—曲沢峠12:55—三条の滝13:35—寂梢尾根 登山口14:10—桜公園14:20着		
標高差	上り=桜公園約650m～滝子山1590m=約940m 下り=大谷ヶ丸1644m～桜公園約650m=約994m		
参加者	CL・後藤隆徳    SL・村上充彦    峰田光江    村上美恵子    鈴木恵美子、 河野光江    =6名		

今日の山行は、来月の空木岳の訓練登山である。上部に岩場が有り、大菩薩嶺から南に続く稜線に有る山くらいの知識と、8月29日の富士山いらいの訓練不足を今日で解消するぞという気持ちで参加する。

3連休の中日であるが、出発が早かったからか車は順調に走り、桜公園に予定より1時間早く到着。公園とはいうものの駐車場は特に無くトイレも無い。林道を少し歩くと右手に寂梢尾根経由滝子山の指導標が有り右折、続いて寂梢尾根登山口入口の指導標、手書きの案内板、寂梢宛の廃屋を通り過ぎる。15分ほどで鉄塔の基部に出る。この後かなりの急登で汗が吹き出し休憩はまだ？と思いながら登る。訓練の為の荷が重い。7:10、やっと休憩。先が思いやられる。ここからひと登りで林道に出る。向かい側の登山道入り口から見上げるとものすごく急でロープが張られている。まさに直登だ。さらに急な登りをしばらく続けると、岩場になる。苦しいが少し楽しくなってくる。いったんは岩が無くなるも、どんどんヤセ尾根になり岩がゴツゴツしてきて、鎖も有り、手足をフル活用する様な岩場になる。



後藤CLが剣岳よりすごいよと言う。そうかも、と思う。8:50、後続を待ちながら休憩。10分程の登りで、明るくなり尾根上に出る。左に浜立山、登ってきた寂梢尾根を指す指導標が立っている。滑落多発！危険と有る。有り得るな～、下りは怖いな～と思う。右折して進む。ゆるやかな登り下りが続く。そのコルにトリカブトが群落を作っている。花が茎にびっしり付いてしなっている。見事な紫色。さらに登り続けると左手が急に開け、山々がのぞく。さらにひと登りで山頂に到着。後藤CLと握手をする。東西に細長い山頂で西側は木々で見づらい。



快適な一本上り



立派なブナ



剣より難しい岩場??!!

南側を見上げたら、富士山の頭が少し見えたがすぐ隠れてしまった。残念。コバエの半端ない来襲に早々に出発。急下降の後、鎮西の池に出る。誰を祀っているのか分からないが鳥居と祠があり、すぐそばに水たまりの様な池がある。5分程で、笹子駅／初狩駅／大谷ヶ丸の3方向の指導標があり、直進、大谷ヶ丸を目指す。親子連れと行きかう。この辺りからシソによく似た花がたくさん咲いていた。名前が分からない。トリカブトもかなり咲いていた。6回のピークを越え結構きつい登りの末、大谷ヶ丸に到着。再び後藤CLと握手。山頂は木々に囲まれ展望は無い。4、5人ぐらい座れそうな大岩が露出している。ここで昼食タイムとなる。

しばらくするとマウンテンバイクを担いだ人が2人登ってきた。何で山に自転車

で？歩いて登るもんでしょ。しばらくして出発して言ったが、再び5人自転車を担いだ人が登ってきた。後藤CLがいろいろと話を聞く。記念に写真を撮らせてもらう。

曲沢峠へ向かう登山道は頂上からいきなり急下降しているが、5人はマウンテンバイクを巧みに操り疾走して行った。すごい技だ！！彼らの後をたどるように下山開始。すべりやすい登山道を一気に下る下る。こんな道を自転車で走り降りれるのが不思議だ。



バイク野郎



廃材を利用して作られた立派な山名標のあるコンドウ丸を通過する。木々に覆われていた広い平坦地なのでピークを感じがしない。黙々とほとんど水平移動の道を行く。このあたりはやまなしの森林100選の森だそうで、後藤CLが「いいね～」を連発している。

曲り沢峠を過ぎて笹子駅／大鹿山、大谷ヶ丸・湯ノ沢峠の3方向の指導票を笹子駅方向へ左折すると、ようやく下り道となり、はるか右手下の方から沢の音が聞こえてくる。つづら折りの登山道を下る下る。膝が笑いそうだ。途中、トチの実を拾う。ふ～ん、これがトチの実か、大きいなあ。



素晴らしい森が続く

13:20、沢と出合い右岸へ渡る。かなり上の方の登山道を沢沿いに歩く。10

分ほどで一気に沢へ下り、三丈ノ滝を見ながら左岸へ。少し上った左手に、突然、もちがた駅30分の指導標が立っていた。頭の中には笹子駅か初狩駅しか存在していないので、突然の駅名を目にしてもそれがどこなのか全く理解できない。鉄塔の基部を通過した後、再び沢に降り右岸へ渡るとすぐ林道に出る。右手に小さいお地蔵様が立っている。

林道歩きは苦手だなあと思いながら歩き続けると、右手車道のわきに、どこからか引いたパイプ管から水が出ている。ちゃんとコップが備えてあるので飲めるのだろう。代わる代わる飲む。大丈夫かな？ と思ったが飲んでみたらおいしかった。

左手に“滝子山登山道”の指導票を見送り、「管理人天野一太」の札がど〜んと貼ってある別荘らしき建物と、赤い帽子と前かけの石柱と左右に猿(?)狐(?)らしき石像がある田通乃姥神(何の神様だ!)を見て、朝、右折した寂梢尾根登山入口に合流、ほんの数分後、桜公園へたどり着いた。

やっぱり温泉に入りたい! という事になり大月へ向かう道すがらに見つけた真木温泉の看板に従い向かう。途中、ケイタイで連絡を入れてみると日帰り温泉は3時までで終わりなのでと断られてしまう。確かにすでに2時45分。入浴は無理。取りあえずUターンもできない細い道なので行ってみることに。着いた温泉はとても山帰りの汗臭〜い人間が気楽に入れるところではなく建物も立派で有名人がお忍びで来そうな高級な宿だった! それでもあきらめきれず裾野のヘルシーパークに立ち寄ったが、第三駐車場まで満杯でとうとう無しになってしまった。

今日はやっぱり厳しい周遊コースでしたが、良い訓練になりました。後藤 CL をはじめ参加の皆さん、ありがとうございました。

